

SONY

ビームフォーミングマイクロホン

MAS-A100

オープン価格

 Dante™

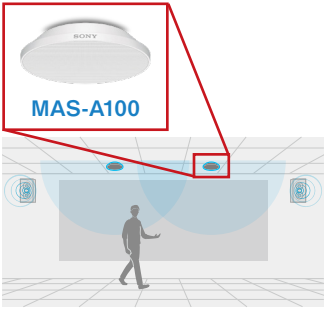





ハンズフリーでの“スピーチ音声補強”と
広範囲の収音を同時に実現する
ビームフォーミング方式の天井設置型マイクロホン
MAS-A100

●掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

MAS-A100は、先進の技術によって天井設置型のマイクロホンでは難しかった話者の“スピーチ音声補強”を実現しました。また、同時に広範囲に収録した音声も出力できます。講師やプレゼンターが、面倒な準備、機器操作をすることなく、自由に両手を使って円滑に講義やプレゼンテーションを行える新しいタイプのマイクロフォンです。

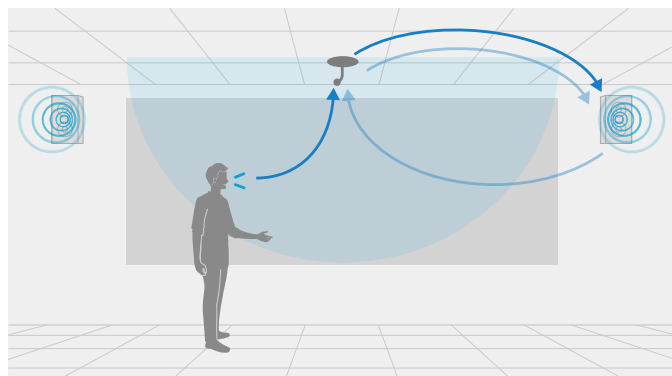
従来のハンドマイク・タイピンマイクとの違いはこちら

	 MAS-A100	 有線マイクロホン	 ワイヤレスマイクロホン (ハンドヘルド型)	 ワイヤレスマイクロホン (ラベリア型)
スピーチスタイル	ハンズフリーで動きながらのスピーチ	話者の立ち位置が固定されてしまう	話者の片手がふさがってしまう	自由に動き回れるが衣擦れノイズを拾いやすい
電源	電源はPoE (Power over Ethernet)に対応	ダイナミックマイクロフォンは電源不要	バッテリー管理が面倒	バッテリー管理が面倒
音量	自然なスピーチ音声補強	大音量での拡声可能	大音量での拡声可能	大音量での拡声可能 ※マイクと口元の位置関係による

主な特長

●ハンズフリーでナチュラルな“スピーチ音声補強”を実現

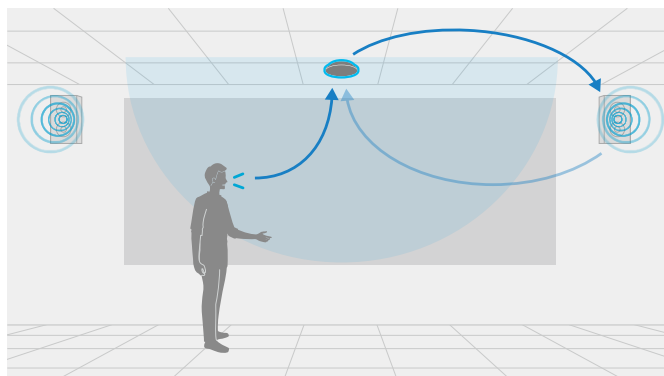
MAS-A100はソニーが業務用マイクロホンで培ったインテリジェント・フィードバック・リデューサーと先進のビームフォーミング技術を搭載。これらの最新技術によってハウリングを抑制することで、これまで天井設置型マイクロホンでは難しかった話者音声のスピーカー出力を実現し、聴講者は自然な感覚でエンハンスされた話者音声を聞くことができます。



従来の天井設置型マイクロホン

指向性が広いマイクを使用するためスピーカーの音を拾ってしまい、話者音声マイクとスピーカーの間で循環増幅されハウリングを起こしてしまう。

そのため主に収録用として使用される。



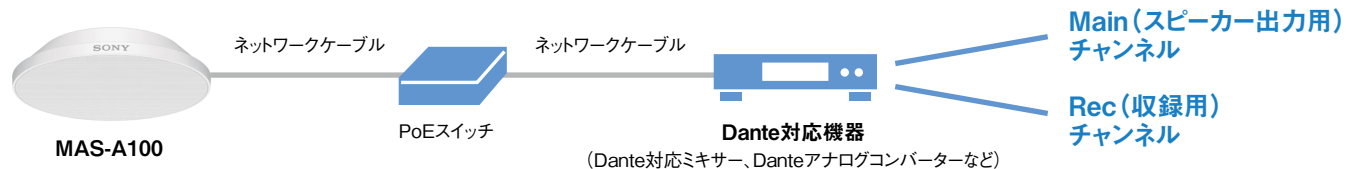
MAS-A100

複数の無指向性マイクを使い、目的音を明確にするビームフォーミング技術とソニー独自のアルゴリズムによるインテリジェント・フィードバック・リデューサーの組み合わせによりハウリングを強力に抑制し、話者音声の自然な補強を実現。

●スピーカー出力用と収録用、2チャンネルの音声同時出力が可能

MAS-A100はAudinate社が開発したデジタルオーディオネットワークの規格“Dante”に対応し、1本のネットワークケーブルを通じてスピーチ音声補強を実現するスピーカー出力用と収録用の2チャンネルの音声を同時に出力することができます。スピーチ音声補強を行うと同時に講義・講演をクリアな音声で収録する、といった使い方が可能です。

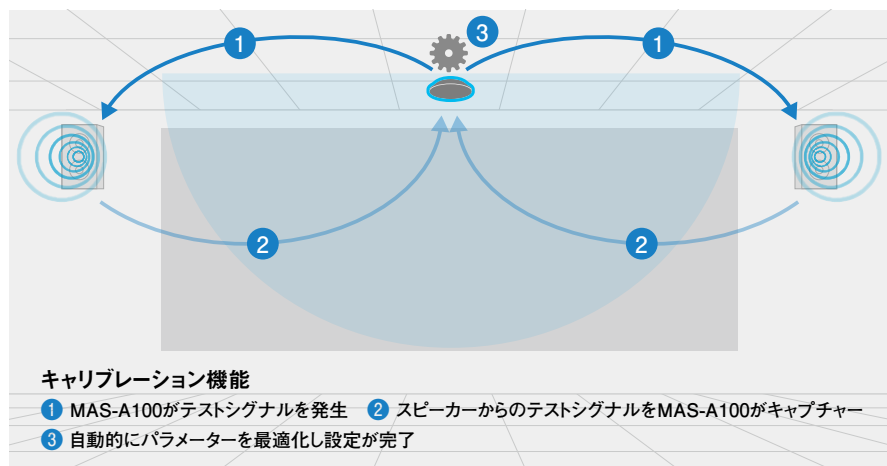
※ スピーカー出力用チャンネルと収録用チャンネルでは收音範囲が異なります。
 スピーカー出力用チャンネルの收音範囲は約3m(推奨約2m)、収録用チャンネルの收音範囲は約7mです。



●簡単設置、簡単設定

MAS-A100の電源はPoE (Power over Ethernet) に対応。ネットワークケーブルを通じて電源を供給するので、ワイヤレスマイクロホンのようなバッテリー管理は必要ありません。設置時の配線もネットワークケーブル1本を敷設するだけで、Danteプロトコルによる音声出力、電源供給、PCからの設定管理のすべてをまかなうことができます。

また、キャリブレーション機能を搭載しているので設置時の設定も簡単です。数秒間のキャリブレーションを実行するだけで、機器が自動的にパラメーターを最適化し設定が完了します。ハウリングを抑制するための細かな設定は必要ありません。



●その他の主な特長

ノイズリダクション機能：プロジェクターやエアコンなどの定常ノイズを除去します。

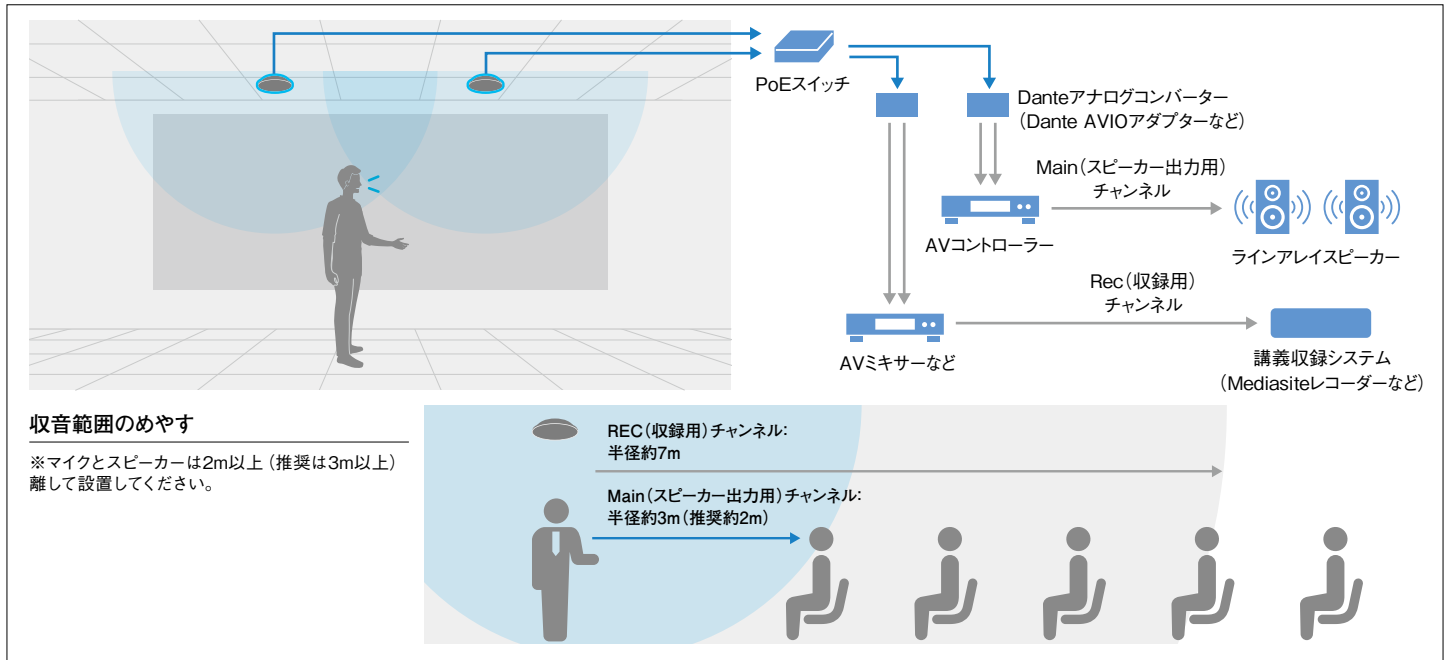
オートゲインコントロール：話者の移動などによる音量レベルの変化を自動的に調整します。

主な用途

小規模講義室 / 会議室では収録用途に、中・大規模講義室 / 会議室ではスピーチ音声補強・収録用途にご活用ください。

	収録用途に	スピーチ音声補強・収録用途に
大学	小規模教室・小規模講義室(～50名程度)	中・大規模講義室(50～200名程度)
企業	小会議室	中会議室・大会議室

システム構成例

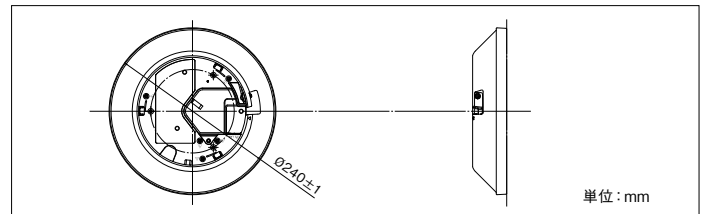


主な仕様

マイク部	
周波数特性	100Hz～10,000Hz*1
感度	0dBFS/Pa, 1kHz*1
SN比	75dB (A-weighted, 1kHz, 1Pa) *1
自己雑音	19dBSPL (A-weighted) *1
最大入力音圧レベル	94dBSPL
ダイナミックレンジ	75dB*1
遅延時間	24ミリ秒以下*2
最大ノイズ抑圧量	24dB
最大ハウリング抑圧量	32dB
インターフェース部	
LAN端子	100BASE-TX/1000BASE-T(RJ-45) ×1
音声インターフェース	Dante, AES67*3
チャンネル数	2チャンネル[Main (スピーカー出力用)、Rec (収録用)]
サンプリングレート	48kHz
ビット深度	24
一般	
対応ブラウザ	Google Chrome
質量	約1kg (本体のみ) 約1.3kg (シーリングブラケット含む)
外形寸法	約φ240mm×高さ50mm (本体のみ)
電源	PoE (Power over Ethernet, IEEE802.3af準拠)
消費電力	9W (最大13W)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80% (結露なきこと)
防塵規格	IP4X
付属品	シーリングブラケット×1、テンプレート×1、安全のために×1

*1: 音声処理の影響を含まない
*2: Danteによる遅延を含まない
*3: AES67はマルチキャストのみ対応

外形寸法図



製品に関するご注意

MAS-A100は、独自のフィードバック抑制機能の働きにより、拡声用のオーディオシステムに接続し、**スピーチ音声補強**を行うことができます。ただし、フィードバックの抑制量には限界があり、スピーチ音声補強の音量の上限は、設置環境によって決まります。

推奨される設置環境

スピーカー

●天井や壁からの反射が少ないラインアレイスピーカーを推奨します。
●MAS-A100とスピーカーは、3m以上離して設置することを推奨します。それにより、音量の上限が大きくなります。また、スピーカーの指向性が、MAS-A100の方向に向かないように設置することにより、音量の上限を大きくすることができます。教室の教壇の天井にMAS-A100を設置するときは、スピーカーは聴講席側に寄せて設置することを推奨します。

音響特性

音の反響および反射の少ない部屋での利用を推奨します。部屋が狭すぎるとき(たとえば5m×5m以下)、内装が音の反射の多い材質(タイル張りの壁や床など)のときは、スピーチ音声補強の音量の上限が小さくなります。

騒音

MAS-A100は、スピーチ音声補強を行う話者の声よりも大きい騒音がある環境では使用できません。MAS-A100の定常ノイズを軽減する機能には限界があります。空調やプロジェクター等の機器からはできるだけ離して設置することを推奨します。

その他

MAS-A100はインテリジェント・フィードバック・リデューサーが搭載されていますので、後段のミキサー・プロセッサーによる非線形処理(ハウリング抑圧機能、オートゲインコントロール等)はご使用できません。設置環境を踏まえた音響システム設計が必要です。販売店にご相談の上、事前にデモ機での検証などをして頂きますようお願いいたします。

安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります ●カタログと実際の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります ●「ソニー」および「SONY」は、ソニーグループ株式会社の登録商標です ●Audinate®、AudinateのロゴおよびDante®は、Audinate Pty Ltdの登録商標です ●その他記載されている各社の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト

sony.jp/pro/



ソニーマーケティング株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・一部のIP電話からは050-3754-9550

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

OP/GXOP-2 Printed in Japan. (84951034)

2023.6
カタログ記載内容2023年6月現在
本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用